

ロシアのウクライナ侵略に反対

「ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵略」への抗議が、世界中で巻き起こっています。国連総会では、96ヶ国が共同提案し、141ヶ国の賛成でロシア非難決議が採択されました。そしてロシア国内でも、激しい弾圧に抗して「戦争反対」の声と運動が広がっています。

奈良県でも

奈良県でも、3月4日には近鉄奈良駅前で「ロシアの侵略許すな!!緊急県民集会&デモ」が開かれ、私も参加しました。

ここには奈良市在住のウクライナ女性も参加し「ロシア軍の撤退、平和なウクライナを。食糧、医療、住まいなどの支援を」↑訴えるウクライナ人(国旗を模した布を掲げて)と訴えていました(写真右)。



核で脅かすプーチン、それに乗じる安倍元首相や維新

孤立するプーチンは核兵器使用をほのめかして世界を脅かし、あろうことか原発を攻撃して占領しています。文字通りの「狂気の沙汰」です。この狂気の沙汰を口実に、安倍元首相や維新の会が「日本でも核兵器

の共有を」と叫んでいる事も「もう一つの狂気」です。世界で唯一の戦争被爆国である日本で、被爆者をはじめとする国民の願いに背くだけでなく、「核兵器禁止条約」を国連で可決し、核廃絶に向けて、大きく踏み出している世界の流れにも逆行する動きです。

健生会友の会総会で特別決議



3月12日開かれた健生会友の会第

↑4日の緊急集会に参加した人々(写真は共に河合町の馬場さん撮影)

ウクライナ侵攻に断固抗議し、即時撤退を求めます」と題する“特別決議”を採択しました。

19回総会は「いのちを脅かすロシア軍の

急速にひろがる“戦争反対”の動き

高田市も高田市議会も抗議文をロシア大使館に送ったと報道されています。世界あけてロシア・プーチン政権を包囲し、侵略と殺人行為をやめさせましょう。心ある人々が、あらゆる機会に「ロシアはウクライナから撤兵を、戦争反対」の意思を表明することが大切になっています。



伝説の山・^{まろこやま}麻呂子山(214m)

二上山群の東南の一角にある丸い低山・麻呂子山は當麻寺(たいまでら)の背後から、お寺と當麻の里を見守るかのよう鎮座している。

山名の由来は？

古代よりこの地で暮らしてきた當麻氏(当麻氏)の祖は、用

命天皇の子、聖徳太子の弟である麻呂子皇子とされており、麻呂子山の名は、その皇子の墓がこの山にあったからだと言う(青垣の山々)。

分りにくかった登山道

この山に、私が初めて登ったのは58年も前のことだが、どこに登山口があるのか分からず、結局南側から藪漕ぎをして登った。

灌木に取り囲まれた山頂に着き、踏み跡をたどって、當麻寺奥の院そばに降り立った。



↑シラフジと麻呂子山(数年前に葛城市當麻から写したもの)

登山道は閉鎖中

その時下った道は現在閉鎖中。今も登山口は分りにくい。當麻寺奥の院の西(上流)に河川公園が造られているが、その一番下の「太鼓橋」の奥に「表示板」が取り付けられており、ここから登るのが最短コースとなっている。

道なりに登ると頂上に

その登山口から竹林の中の急斜面をロープにすがって登り、右の緩斜面の道を進むと、分岐があり、左右どちらからでも麻呂子山山頂に行ける。今は、要所、要所に案内板が設置されているので迷うことはないが、右回りの方が分かりやすい。

短時間で静かな山歩きが楽しめる

登山者も少なく、短時間で静かな山歩きを楽しむには格好の山だ。



↑ツチグリ(キノコ)

続・続・二上山に咲く花々 29

ガガイモ(鏡芋・蘿藤)

キョウチクトウ科イケマ属

数年前まで大阪側登山口の万葉の森近くの空き地に旺盛に繁茂していましたが、現在そこでは見かけなくなっています。

和名の由来は諸説有るようですが、割れた実の内側が鏡のように光るので「鏡いも」と言われ、それが訛ってこの名に、と言うのが有力説のようです。「芋」は実の形によるとの事。

花期は7月～8月。ツル性の多年草。

右の写真でも分かるように花冠に毛が密生しますが、種子にも長い毛があり、これを綿の代用や朱肉に用いたそうです。

実は薬用にされ、強壯剤として使われるほか、止血、解毒、腫れ物などに効くとされています。

若葉は茹でて食べられますが、有毒なので食べ過ぎないように、とのこと。

